

科目名	医療コミュニケーション学 [科目番号： 41018120]		
タ ャ ム	S 1	単 位 数	2 単位
曜日・授業時間帯	火曜 3、4 時限		
場 所	医学部教育研究棟 13 階 公共健康医学専攻 (SPH) 講義室		
担 当 教 員	木内貴弘、奥原剛 他		
授 業 の 目 的	本講義の目的は、医療コミュニケーション（ヘルスコミュニケーション）の理論と実践を体系的に学習することにある。ヘルスコミュニケーション学とは、医療・公衆衛生分野を対象としたコミュニケーション学であり、保健医療専門職間、保健医療専門職と患者・市民間、患者・市民間等における健康や医療に関連した知識や情報などのコミュニケーションを対象とする。本講義では、保健医療・公衆衛生分野における専門職として効果的なコミュニケーションを実践するために必要な、(1)コミュニケーションの基本的な理論、(2)コミュニケーションの具体的な方略やスキル、(3)コミュニケーションの評価・分析方法等を取り扱う。本講義の受講によって、医療コミュニケーションを実践し、改善していくために必要な基礎的な知識を得ることができる。		
授 業 の 方 法	各回 1 テーマの講義を原則とするが、グループワークを行うことがある。		
授業計画及び内容 (各回のテーマ)	4 月 11 日 3 限 13:00-14:45	医療(ヘルス)コミュニケーション学概論	木内貴弘
	4 月 11 日 4 限 14:55-16:40	ヘルスコミュニケーションの研究 発想・方法・実証研究	奥原剛
	4 月 18 日 3 限 13:00-14:45	よりよい患者・医療者間コミュニケーションに向けて ① 賢い患者・市民を育てる取り組み	山口育子 (COML)
	4 月 18 日 4 限 14:55-16:40	よりよい患者・医療者間コミュニケーションに向けて ② 外国人患者とのコミュニケーション	大野直子 (順天堂大学)
	4 月 25 日 3 限 13:00-14:45	メディアコミュニケーションを理解する①: インターネット	中山和弘 (聖路加国際大学)
	4 月 25 日 4 限 14:55-16:40	組織のコミュニケーション コーチング・カウンセリング・メンターリング	榊原圭子 (東洋大学)
	5 月 2 日 3 限 13:00-14:45	よりよい患者・医療者間コミュニケーションに向けて ③ 実証研究に基づくコミュニケーションの改善	石川ひろの (帝京大学)
	5 月 2 日 4 限 14:55-16:40	行動変容のためのヘルスコミュニケーション① 理論と研究	奥原剛
	5 月 9 日 3 限 13:00-14:45	メディアコミュニケーションを理解する②: 新聞	本田麻由美 (読売新聞)
	5 月 9 日 4 限 14:55-16:40	行動変容のためのヘルスコミュニケーション② 実践のための理論と事例	奥原剛
	5 月 16 日 3 限 13:00-14:45	ソーシャルマーケティングによる価値創造:理論と実践	瓜生原葉子 (同志社大学)
	5 月 16 日 4 限 14:55-16:40	メディアコミュニケーションを理解する③: テレビ	藤本洋平 (NHK)
	5 月 23 日 3 限 13:00-14:45	リスクコミュニケーション&コミュニティエンゲージメント:理論から実践へ	加藤美生 (国立感染症研究所)
	5 月 23 日 4 限 14:55-16:40	まとめ: グループ討論と総合討論	木内貴弘、奥原剛、 岡田宏子、横田理恵
教科書・参考書等	- 石川ひろの 著. 保健医療専門職のためのヘルスコミュニケーション学入門. 大修館書店. 2020 (教科書、他は参考書) - 奥原剛 著. 実践 行動変容のためのヘルスコミュニケーション. 大修館書店. 2021 - Athena du Pre. Communicating About Health: Current Issues and Perspectives. 5th ed. Oxford University Press. 2016 - Philip Kotler, Nancy R. Lee. Social Marketing: Influencing Behaviors for Good. Saga Publications 2019.		
成績評価の方法	講義への出席 (40%)、E ラーニング受講 (10%)、レポート (50%) による。		
他の授業との関連	医療コミュニケーション学演習の前に受講することが望ましい。すべての科目と関係が深い。公衆衛生の研究、実務において、コミュニケーションを考慮することなしに成立する学問は存在しない。		